

作成 1997 年 9 月 10 日  
改訂 2010 年 4 月 1 日  
発行番号 18

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 バイコラール水和剤

会社名 バイエルクロップサイエンス株式会社  
住所 東京都千代田区丸の内 1-6-5  
担当部門 生産技術グループ  
電話番号 (03) 6266-7419  
FAX番号 (03) 5219-9735  
整理番号 AG-24

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : *all-rac*-1-(ビフェニル-4-イルオキシ)-3,3-ジメチル-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ブタン-2-オール  
(一般名: ビテルタノール)

含有量 : 25.0 % (他 75 % は界面活性剤、鉱物質微粉等)

化学式 :  $C_{20}H_{23}N_3O_2$

官報公示整理番号(安衛法) : 8-(3)-633

CAS No. : 55179-31-2

### 3. 危険有害性の要約

有害性情報 : 眼及び皮膚に対して刺激性がある

環境影響情報 : 通常の使用方法では影響は少ない

物理的及び化学的危険性 : 通常の使用方法では危険性は無い

分類の名称 : 分類基準に該当しない

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに水で洗い流した後、石鹸でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当を受ける。衣服類は汚染物を洗い落として着用する。

目に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼した後、痛みがあれば眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 意識のある場合は吐き出させ直ちに医師の手当を受ける。吐き出すことが困難な場合は無理に吐き出させようとはならない。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂など

消火方法 : 消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行なう。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないよう注意する。

除去方法 : 床面などにこぼれた場合は直ちに掃きとり密閉容器に収納する。

- 二次災害の防止策 : 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。  
風下では作業しない。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い : ラベルを良く読むこと  
吸い込んだり目や皮膚に触れないよう長袖の作業衣、保護メガネ、不浸透性手袋、農薬用マスクを着用して、できるだけ風上から作業するようにする。  
作業後は手足、顔等を石鹸でよく洗い、うがいをすると共に衣服を交換する。
- 保管 : 密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管する。
8. 暴露防止及び保護措置
- 許容濃度 : 設定されていない
- 設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または、全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 保護具 呼吸用保護具 : 農薬用マスク
- 眼の保護 : 保護メガネ
- 保護手袋 : 不浸透性手袋
- 保護衣 : 定められた作業衣、安全靴を着用する。
9. 物理的及び化学的性質
- 形状 : 粉末
- 色 : 類白色
10. 安定性及び反応性
- 安定性 : 通常の実験条件において安定
11. 有害性情報
- 急性毒性 : 経口 ラット(♂♀) LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg  
経皮 ラット(♂♀) LD<sub>50</sub> >2,000mg/kg
- 局所効果 : 皮膚刺激性 ウサギ 軽度の刺激性あり  
眼 刺激性 ウサギ 強度の刺激性あり、洗眼効果あり
- 感作性 : 感作性なし
12. 環境影響情報
- 生態毒性
- 水産動植物に対する影響 : コイ LC<sub>50</sub> 5.1mg/L (96時間)  
オシロイダマ EC<sub>50</sub> 13.4mg/L (48時間)  
藻類 EbC<sub>50</sub> 2.14mg/L (0-72時間)
13. 廃棄上の注意
- 農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。
14. 輸送上の注意
- 国連分類 : 該当しない
- 国連番号 : 該当しない

